

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月18日

協議会名:丸亀市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
丸亀市	本島コミュニティバス 本島港～笠島～本島港 計画運行日数 365日 計画運行回数 1,839回	<p>〈前回の評価結果の概要〉 島民や来訪者のニーズ及び利用状況とサービス内容との整合性について継続的に検証し、利用者の増加に繋がる施策を検討する。</p> <p>〈評価結果の反映状況〉 ・Google Mapでの路線検索で英語表記を追加し、来訪者の利便性向上を図った(令和5年5月～)。 ・75歳以上の高齢者の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った(令和5年6月～)。 ・利用者の要望により、新たなバス停「山根」を追加し、また既設のバス停の位置を変更した(令和5年10月～)。 ・航路との接続に配慮したダイヤとしている。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標達成率】128% (目標:3,650人/年) 【利用者数】4,684人/年 (対前年比:155%) (対前々年比:177%) 【1便あたり利用者数】2.5人 【収支率】4.7% (対前年比-0.3%) (対前々年比+0.6%)	利用者の高齢化により、バリアフリーに配慮した車両や、航路との接続以外にも島民の生活にあったダイヤの設定について検討する。 また、収支率向上に向け、ホームページやGTFSデータを活用した情報発信を行い来訪者の利用促進を図る。

<p>琴参バス(株)</p>	<p>綾歌宇多津線 綾歌市民総合センター～郡家 郵便局～宇多津駅南口</p> <p>計画運行日数 365日 計画運行回数 2303.5回</p>	<p><前回の評価結果の概要> 地域の実情にあった運行ルート・バス停の位置の検討や利用者の意見を集約し利便性の向上に努める。</p> <p><評価結果の反映状況> ・商業施設(ピカソこんぴら街道店)敷地内への乗り入れを開始し、利便性向上を図った(令和4年10月～)。 ・バスロケーションシステム「バスきよん？」の対応路線を琴参バスの全路線に拡大し、乗換検索など機能拡張に努めた(令和5年2月～)。 ・75歳以上の高齢者の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った(令和5年6月～)。 ・市の広報誌などにコミュニティバスの特集や情報を掲載し、利用促進を図った(計3回)。</p> <p>・丸亀垂水線(幹線バス)との接続については、乗換を考慮したダイヤとしている。</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p>	<p>【目標達成率】110.7% (目標:42,160人/年) 【利用者数】46,691人/年 (対前年比:129.2%) (対前々年比:144.0%) 【1便あたり利用者数】 20.3人 【収支率】17.9% (対前年比+3.3%) (対前々年比+3.9%)</p>	<p>バスロケーションシステムの乗降センターを活用し路線運行の効率化を検討していきたい。</p> <p>GTFS-JPにてオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。</p>
----------------	--	--	----------	-------------------------	----------	--	---

<p>琴参バス(株)</p>	<p>丸亀東線 三谷団地前～飯山市民総合センター～宇多津駅北口</p> <p>計画運行日数 365日 計画運行回数 2303.5回</p>	<p><前回の評価結果の概要> 地域の実情にあった運行ルート・バス停の位置の検討や利用者の意見を集約し利便性の向上に努める。</p> <p><評価結果の反映状況> ・商業施設(四国水族館)まで路線を延長し、観光客を中心とした利便性の向上を図った(令和4年10月～)。 ・バスロケーションシステム「バスきよん？」の対応路線を琴参バスの全路線に拡大し、乗換検索など機能拡張に努めた(令和5年2月～)。 ・75歳以上の高齢者の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った(令和5年6月～)。 ・市の広報誌などにコミュニティバスの特集や情報を掲載し、利用促進を図った(計3回)。 ・レオマ宇多津線(幹線バス)との接続については、乗換を考慮したダイヤとしている。</p>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>【目標達成率】136.2% (目標:32,370人/年) 【利用者数】44,077人/年 (対前年比:142.6%) (対前々年比:158.2%) 【1便あたり利用者数】19.1人 【収支率】17.0% (対前年比+4.0%) (対前々年比+4.3%)</p>	<p>バスロケーションシステムの乗降センターを活用し路線運行の効率化を検討していきたい。</p> <p>GTFS-JPにてオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。</p>
----------------	---	---	----------------------------------	--	---